

牛尾座長談話

平成21年3月13日
観光立国推進戦略会議

世界の観光市場は今後も成長が見込まれる分野。経済のサービス化が進む中で、多くの先進国では観光がサービス産業のトップを担っている。

他国・地域との経済取引に拠るところの大きい我が国が持続的に成長するためには、「閉じる」ではなく、「開く」、「受け入れる」姿勢が重要。開放性に富んでいることが観光の特長であり、観光市場の成長は国益にもかなう。

中長期的な目標は、皆の考えが構造的に変わるぐらいのものが肝要。現在の訪日外国人1,000万人の目標も、倍増という大胆な目標を設定したから、5年で300万人以上の増加という成果を産んでいる。政府はじめ関係者は、「2020年に訪日外国人2,000万人」を目標とする意義を十分に認識すべき。

訪日外国人2,000万人社会は、「第二の開国」ともいえる開かれた社会構造を実現していくことにつながるもの。困難はあるが、政府は、他の政策課題との均衡も図りつつ、観光立国の実現を最優先課題と位置づけ、英断を持って推し進めてほしい。

インバウンド市場も、世界同時不況の影響を受け、大変な逆風となっているが、今必要なことは、国際観光は国と国の訪問客獲得競争であることを念頭に、危機こそチャンスと捉え、将来の成長に向けた布石を打つこと。

取り組むべき主な課題を提言に記載したので、着実な推進が図られるよう、政府は関係者と連携して計画的に課題解決を進めるべき。